

劔岳

2990.△2997

80代男性で登山歴30年以上。入山から2日後、家族に「道に迷っている」と電話。搜索開始から2日後、登山道から外れた地点で遺体を発見した。

発見地点

須次郎

前劔

平蔵





8月上旬、早月尾根から劔岳を目指し、別山尾根を下る計画を立てた。登山届は提出済み。

発見場所は別山尾根の東側にある平蔵谷の左岸だった。避難場所は悪天候だったため、ガスが濃く視界が悪かったと考えられる。遺体は外傷が多く、道迷いから転落したと考えられる。（本文参照）

アルプスの岩場では、ルート上の岩に○印がペンキで書かれているが、見つけにくいことがよくある。増してや視界が悪ければなおさらである。道迷いは、「読図が分からない」だけでなく「視界が悪く道が分かりづらい」等の気象条件によっても起こりえる。

「道がわからない」→「あせり・不安」→「冷静さを失う」→「道ではないところを歩く」→「滑落」という結末も少なくない。十分注意したい。